



つながりがみつかる! つながりがはじまる!

twitter ★ http://twitter.com/#!/center_j

NEWS LETTER IDEA

いちのせき市民活動センターニュースレター アイデア

JULY
2011
Vol.2

idea 7



千厩サテライト開所式

いちのせき市民活動センターは、七月十四日、千厩町に同センターの千厩サテライトを開設しました。

NPO、企業、行政などの異なる職業の人たちが協力して、まちに暮らす人が、まちの課題を自分たちで解決し

ていく「つながりが創る持続可能な社会」を実現するため、平成十七年、一関市大町に中間支援事業を行う「きらめきサポートステーション」の運営をNPO法人レスパイトハウス・ハンズが開始。その後、平成二十年、一関市の委託事業として一関市大町に「いちのせき市民活動センター」を開設しています。

千厩サテライトで行った開所式には、市民活動団体、一関市千厩支所、千厩町商店街など多くの団体の関係者が参加。サテライトは、これまで千厩町で「元気庵」として親しまれてきた空き店舗を活用しており、トイレや休憩スペースを備えています。また、事務所にあるワークスペースを活用し、地域の会議やワークショップなどで利用することも可能です。

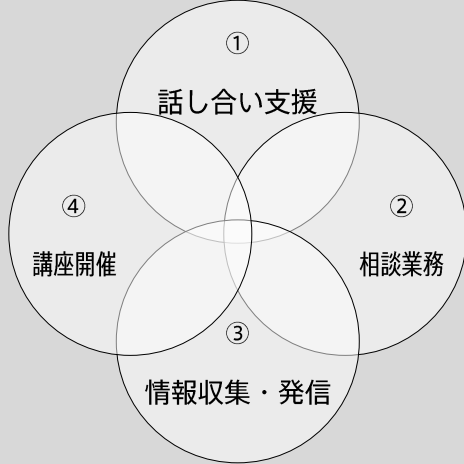
千厩サテライトの開設により、地域課題の解決に向けた支援、新たな地域の価値創造の支援等の体制を整え、東地域の市民活動の支援の強化につなげていきます。

いちのせき市民活動センターでは、「こんな地域になればいいな」という地域の思いの実現に向け、様々な支援活動を行っています。



いちのせき市民活動センター千厩サテライト・開所式でのテープカットの様子

市民活動センターはこんなことをします



① 団体や地域の会議などで意見が出やすいように、話し合いの支援をします。

② 窓口での相談対応。団体・個人どなたでも活動の事に関して、ご相談下さい。

③ 団体活動・地域活動の情報を取材したり、それをまとめて発信します。情報コーナーも開設。

④ 地域づくり関係、団体運営、会議の仕方など、みなさんに有益となる講座を開催します。



開所式にかけつけて下さった、たくさんの方々

「いちのせき市民活動センター」のあゆみ

平成十七年 きらめきサポートステーション一関

岩手県による委託事業を開始。

平成二十年 いちのせき市民活動センター開設

一関市による委託事業に変更。

平成二十三年 いちのせき市民活動センター

千厩サテライト開設

2 | 千厩サテライト開所式

地域の思いの実現に向けた支援を

4 | センターのやってること①

市民フェスタへ向け準備をしています！

市内の市民活動団体を訪れお話を伺っています。

5 | センターのやってること②

子どもたちが協力し黄金山キャンプ場をきれいに

女性が安心して本音で語り合い元気になれる居場所づくりを

6 | 団体紹介

北上川サポート協会 ～ホテル観察会～

7 | 団体情報

ひびぶろ NPO法人響生×prop

イベント情報

げんきの WA! / 川の水質調査 / しょうがい者乗馬会 / ふるさと学習院

8 | ちょこっと紹介

いわしみずの無添加手づくり梅◎ / 金色のオタマジャクシが生まれた?!

2011年は国際森林年です! / スタッフは見た! 不思議な夕焼け



7月の表紙

古代の蓮の花(大東町)

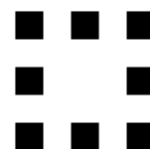
大東町の「森づくり NPO どんぐり協会」にある農場では、蓮の花が見頃です。空の水色とコントラストが美しい、淡い桃色の蓮の花は、茨城県で発見された古代の蓮から採取した種を、研究に携わっていた東京大学の教授から譲り受け、代表の菅原さんが栽培し、開花させたものだそうです。

いちのせき市民活動センターニュースレターidea は、市民活動がアイデアを持って NPO と行政や企業。市民との出会いの機会を創りだすことを目的とした情報誌です。センター情報をはじめ管内の市民活動団体情報や行政情報をお届けします。

いちのせき
市民活動センター
center-i

「ひとりの困った」を
「みんなの困った」に!

地域住民は何を必要としているのか、何をしたいのか、地域の課題は何か。自分たちができることは何かを一緒に考えます。



ロゴマーク

9月に合併をする藤沢町を含めた「8つの地域」が創る1つのひろば「スクエア」を象徴的に表しています。

営業案内

■開館日 月曜～土曜

■開館時間 9時～18時

■休館日 日・祝日&年末年始

いちのせき市民活動センター

〒021-0881 一関市大町 4-29

☎&fax 0191-26-6400

千厩サテライト

〒029-0803 千厩町千厩字町149

☎ 0191-48-3735

Fax :0191-48-3736

市民フェスタへ向け

準備をしています！

今年も市民フェスタの時期が近づいてきました。八月二十八日(日)、今年も十時から午後三時まで、一ノ関駅東口交流センターを会場に行います。インアーチ会議を通してフェスタ参加団体さんへスケジュールのご案内をしたり、ポスターを作ったりと、センターも開催に向けて準備をしています。

毎年恒例のいちのせき市民活動ゾーンでは、地域、子供、環境、福祉など、一関で市民活動を行っている様々な団体の活動報告や疑似体験、子供たちの作った物産コーナーなど、楽しさいっぱいです。また、全国各地事例トレーディングパークも開催され、全国の市民活動や地域づくり活動の先進事例や活動資料が入手できます。

さらに、今年は復興支援ゾーンが設置され、震災から五ヶ月を経た今、現地の復興の様子や、各団体からの状況報告をご紹介します。どんな団体が何の支援をしているのか、復興支援に興味のある方、お気軽にお立ち寄りください。

・NPO法人アートで明るく生きるかわさき・NPO法人響生・NPO法人レスパイトハウス・ハンズ・NPO法人ケアセンターいこい・NPO法人ワークハウス雲・NPO法人とーばんふーどくらぶ・老松活性化同志会
・未来塾・たびれつし推進協議会・一関マジックの会・一関世代にかける橋・NPO法人子育てネット
・一関市少年少女発明クラブ・NPO法人北上川サポート協会・地球温暖化対策協議会…ほか

いちのせき
市民活動ゾーン

・NPO法人まちづくり喜多方(福島)・NPO法人遊楽(茨城)・NPO法人元気みやぎ研究所(宮城)・NPO法人風・波デザイン(岩手)・NPO法人いわてNPO-NETサポート(岩手)…ほか

地域事例トレー
ディングゾーン

・NICCO・ピースウインズジャパン・ワールドビジョンジャパン
・NPO法人@リアス釜石・いわて連携復興センター…ほか

震災復興支援
ゾーン

市民活動団体には、ミッションがあります。そのミッションは団体毎であり、活動分野によって異なります。しかし、そのミッションの向こう側には、一関というまちが良くなることです。すなわち、活動分野が異なっても、辿り着く目的は、まちづくりです。

いちのせき市民活動センターでは、「NPOとは?」「市民活動とは?」といった疑問を持つてセンターを訪れる方に対して、必要な方に、現在活動している団体の詳しい情報をお伝えしています。

そこで、どのような団体が、どのような活動を行っているのか、といった情報を収集し、発信するために、一関市内で活動を行っている市民活動団体から、お話を伺っています。

何うお話の内容は、団体の所在地や連絡先などの基本的な情報を始めとして、どんなきっかけで活動を始めたのか、どんな想いを持って、これからどうしていきたいのかなど、とても貴重です。

市民活動団体は、とてもいい活動や、とても素敵な場所をつくっていても、なかなか多くの人に知られるきっかけやチャンスがないこともあります。そのような価値を、広く発信するためのお手伝いをしています。

今後も、各団体の活動内容や団体の活動歴などをお伺いし、市民活動の情報発信と、それらの情報を用いた、市民活動に関する周知・啓発を続けていきます。お話を伺いにスタッフが訪れますので、その際には、よろしくお願ひします。



市内の市民活動団体を訪れ

お話を伺っています。

子どもたちが協力し 黄金山キャンプ場をきれいに

一関千厩町小梨地区では、東京都世田谷区太子堂地区と共に、青少年健全育成のためのプロジェクト「PALPAL交流」に取り組んでおり、二十七年の間に、二千名以上の子どもたちが、相互に春と夏の合宿を通して交流してきました。「黄金山サマーキャンプ」は、七月二十六日（火）から二十九日（金）までの四日間、黄金山キャンプ場を会場に行われます。

清掃作業は、小梨公民館を中心に、南小梨育成会メンバー、さらにその子どもたちによって行われました。



©fumiro

センターのやってること

いちのせき市民活動センターでは
相談業務・情報収集・発信・話し合い支援・講座の
開催等により、「こんなことをしたい」「こんな地域
になればいいな」という地域の思いの実現に向け
た支援を行っています。

当日は、南小梨地域の小学生がキャン
プで使用するウッドデッキの塗装を自
分たちで担当。低学年から高学年までが
協力し、約一時間の作業では、高学年の
子どもたちが低学年の子どもたちを優
しく教え、中には筆の取り合いになる様
子も見られましたが、みんなで順番を守
って交代しながら塗装を行いました。

安心・安全なキャンプ場に東京都の子
どもたちを向かい入れるために、小梨地
域で暮らす大人だけでなく、子どもたち
が主体となった今回の整備事業。どんな
交流が生まれるのか楽しみです。

※センターのスタッフが当日の作業に参加し
てきました。地域づくりの様子を肌で感じる
ことができました。

女性が安心して本音で語り合い 元気になる居場所づくりを

一関市主催、いちのせき市民活動セン
ター共催の男女共同参画サポーター研
修公開講座「災害と女性」阪神淡路の経
験は活かされたのか?」は、七月十六
日、一関市役所で開催されました。

講師を務めたのは、NPO法人ウイメ
ンズネット・こうべの代表 正井礼子さ
ん。一関で講座を行ったその足で被災地
を訪ね、ハンドマッサージをしたり、避

難所の女性の声に耳を傾けていたとい
います。また、過去の災害支援活動や、
メディアではあまり取り上げられない
災害に関連した女性問題の様々な事例
が紹介されました。



代表 正井礼子さん

講師の正井礼子さん

NPO法人ウイメンズネット・こうべ
では、女性がもっと自由に、もっとのび
やかに生きられる社会を目指し、中でも
「女性に対する暴力」の根絶に取り組
み、DV被害者への情報提供や付添支援
などを行っています。

「大事なことは安心して話せる場所が
あること」と正井さんは言います。災害
や暴力等、強い恐怖や無力感を感じた場
合、体験した気持ちをどのくらい話すこと
ができたかで、その後の心の傷跡が変わ
るためです。

また、「魚屋さんだけで町のしくみを
決めたら、八百屋さん怒るよね」と、意
思決定の場での多角的な視点や立場の
必要性をわかりやすく説いていました。

当日の講座では、二時間半に渡り、予
定時間を過ぎても質問や意見が活発に
出されており、地域で暮らす方々の意識
の高さが伺えます。

今回の講演会は公開講座として行わ
れました。平成二十三年度男女共同参画
サポーター養成講座は、七月から十二月
まで、計五日、十二講座で開催される予
定です。

今後の「一関市男女共同参画」に関するお問い合
わせはこちら。

※一関市企画振興部 企画調整課

☎0191-21-2111

男女共同参画サポーター研修公開講座

災害と女性

～阪神淡路の経験は活かされたのか?～

東日本大震災から3ヶ月、若手・宮内陸地震から3年、立て続けに災害を経験した今だからこそ、「災害時における女性」に焦点をあて、過去の災害を教訓とし、大震災からの復旧・復興、そしてこれからの防災対策について学ぶことが大切です。
地域での防災や消防の取り組みに、ぜひご参加ください!!

◆日時:平成23年7月16日(土)午後2時~4時

◆会場:一関市役所2階大会議室

◆講師:NPO法人ウイメンズネット・こうべ

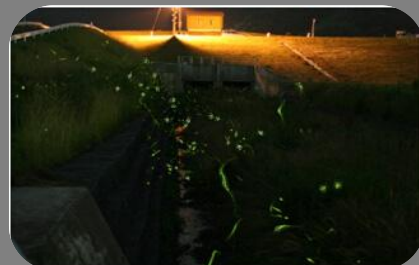
団体紹介

——ホタル観察会

NPO法人北上川サポート協会



手造りの紙芝居で、蛍の楽しみながら勉強中だよ！



上：観察会での蛍の群れ 下：風呂川にある看板

©NPO法人北上川サポート協会
北上川の河川空間を利用するすべての住民に対し、その積極的な活用と創造に関する事業を行い、流域の連携及び地域の活性化に寄与するため、平成16年3月に設立。イベント・交流、人材育成など、幅広い活動を行う。

——初夏の夕暮れ川辺には、

ピカピカと幻想的な光が夜への合図になる。

NPO北上川サポート協会
主催のホタル観察会におじゃ
まさせていただきました。

観察会場所は一関市川崎町
門崎小学校付近の風呂川。

私たちが到着した時にはすで
にホタルについての学習会が
はじまっていて集まっていた
子どもたちが夢中で講師の方
の話を聞いている。

「ホタルはなぜ光るのか？」
それは繁殖行動がはじまると
求愛の形として光を発するの
だとか、生息している場所
によっても光の色とか違いがあ
るそうで、ついつい大人のほ
うが感心させられてしまう。

サポート協会の方々が作った
ホタルの紙芝居が子どもたち
には好評なようで真剣に聞き
入っていた。

学習会が終わると川へ移動
し観察会。あたりは夕暮れか
ら夜に変わる瞬間、川辺に目
を凝らすと幻想的な光が見え
てくる。黄色っぽい優しい光
が消えたり光ったり無数にお
互いの場所を確かめあってい
るようでその姿に子どもたち

も大人たちも、いつまでも見
ていたいなと思わせるような
幻想的な時間が流れた。

平成十九年からはじまった
「ホタル観察会」は今年で十
回目。

協会の人によると、ホタル
の光は昔はもう少し強かった
そうです。外来種などの影響
で食べるものが変わった事も
一因だとか。

観察会を通じて、地域の自
然の大切さと自分たちでホタ
ルを守って行こうという気持
ちが参加者の方々に芽生えて
いただけたらと考えていま
す。

ホタルを通して環境、地域
資源などの大切さを学ぶ。み
なさんの自分たちの住んでる
近くの川にホタルはいます
か？

サポート協会では毎年ホタ
ル観察会を開催しています。
来年参加してみたいかがで
しょうか。

※北上川サポート協会
☎0191-36-5666

Art

Music

NPO法人響生とpropによる
音楽と美術のコラボレーション

平成 23 年度だけの特別なチーム

ひびふる



笑顔がいっぱい生まれるような、楽しめるような活動を

NPO法人響生※ひびき（代表・杉山浩さん）とprop（代表・那須賢輔さん）とのコラボレーションによって実現した団体「ひびふる」は、日本財団ROADプロジェクト事業の助成を得て、平成 23 年 6 月から、平成 24 年 3 月まで、陸前高田市米崎小学校の「りんご教室」と陸前高田市横田町の「川の駅よこた」で、「ふれあいあゆっこ教室」の利用者を対象にした合計 17 回の親子で遊べるプログラム「なるなるかくかく」を実施しています。「なるなるかくかく」は、音楽の「なるなる」と美術の「かくかく」という二つのエッセンスで、親子で楽しみ、笑顔がたくさん生まれるようなワークショップで構成されています。

NPO法人響生とpropは、平成 22 年度の一関市地域おこし事業「ライン〜つなぐ・つながる・つなげる〜」にて、しょうがいのある子どもたちと、地元小学校に通う子どもたちを対象にしたアートを活用した事業を実施しています。

今回の事業では、「ひびふる」として、音楽療法士の杉山ふみさんと、ひびきスタッフ、ワークショッププランナーの那須賢輔さんによる「音楽」と「美術」を用いた時間と空間の創造を行っています。五感を使った活動を通して、たくさんの方々の笑顔が生まれました。

いちのせき市民活動センター ☎0191-26-6400 📖 ブログ <http://blog.canpan.info/ichinoseki/>

🎉🎉イベントカレンダー🎉🎉

育児

親子で楽しむ
オリジナルの夏祭り

一関子ども劇場は、みんなに笑顔を与えるような、親子で楽しめるイベント「げんきの WA!」を開催します。ピカさんの顔面紙芝居は有料となります。緑日やエプロンシアター、ふるしき市など、楽しい企画が盛りだくさん。希望者は会場にお越しください。

📅日時 8月11日（木）10～16時
📍場所 バルーンキッズ駐車場
→一関子ども劇場
☎0191-25-6160
❖参加費 無料

体験

佐々木牧場で
馬たちと触れ合う

パカポコクラブでは、馬たちと触れ合う時間を楽しむしょうがい者乗馬会を開催します。参加希望者とボランティア希望者は佐々木牧場に集合して下さい。

📅日時 8月21日（日）10～12時
📍場所 佐々木牧場
→パカポコクラブ
☎0191-82-5584
❖参加費 一人 1000 円

講座

カウンセリングと
自己洞察を学ぶ

いちのせき市民活動センターでは、地域づくりの人材育成のための講習会を開催します。臨床心理士の後藤真さんを講師に迎え、参加・体験型のワークショップを開催。参加希望者は早めに申し込んで下さい。

📅日時 8月20日（土）11-17時
📍場所 Point1（新鮮館おおまち向かい）
→いちのせき市民活動センター
☎0191-26-6400
❖参加費 無料

環境

夏の金流川で
水質調査をしよう

NPO 法人里山自然学校はずみの里では、川の水質調査を行います。参加希望者は、帽子、着替え、タオルを持ってはずみの里までお越し下さい。

📅日時 8月17日（水）9～12時
📍場所 金流川
（集合場所：はずみの里）
→NPO 法人里山自然学校はずみの里
☎0191-82-3857
❖参加費 無料

文化

ふるさとの文化を
身近に楽しく遊ぼう

NPO 法人一関文化会議所では、「今に残る一関藩をかいま見る！」と題して、6月～10月まで月1回、ふるさと学習院を開催します。第3回目は、一関藩の庶民の教育と和算道場について学びます。希望者は申し込みのうえ、会場で受講料をお支払いください。

📅日時 8月27日（土）14～16時
📍場所 一関市総合福祉センター大会議室
→NPO 法人一関文化会議所
☎0191-32-4333
❖参加費 1200 円（9月 1500 円）

祭

市民活動団体が
一関に大集合！！

いちのせき市民活動促進会議インナーチでは、市民活動の周知と、先進事例の発表や市民活動団体の交流などを目的に、いちのせき市民フェスタ11を開催します。沿岸地域の復興を支援する物産展など。

📅日時 23年8月28日 10～15時
📍場所 一ノ関駅東口交流センター
→いちのせき市民活動促進会議インナーチ
☎0191-26-6400
❖参加費 無料



★毎週日曜9時～12時

千厩町の官本時計店の隣で開催している朝市で

限定販売中!



とーばんふうどくらぶ
ササキさん手づくりの梅!!

国際森林年の2011年!
ワヌギの植樹を開催しました。

又タッパが撮映した
不思議な夕焼けです。



ねこの手ワラジ
ササキさん
(大連)



どんぐり協会
サ原さん
(大連)

80歳でも
まだまだ現役!

個性が光る
活動を展開中!

なんと...!袋の写真は
金色のオタマジャクシ。
毎年見つけているそうです!

